

現状の課題

- ・語彙や知識が少ないため会話を長く続けることができない。
- ・小学校で学習した内容が中学校であまり活かされていない。

具体の取組の内容

生徒が授業内でわからない言葉や表現、読めない単語やそのつづり等を聞きたいとき、どのように教師－生徒間、生徒－生徒間で発信していくかを1つの発信力と捉え、毎回の授業で積極的に How do you say ～ in English ? / How do you read this word ? / How do you say it ? を使わせる場面を作り、生徒の活用を推進した。

研究授業等で、日付、曜日、天気などを生徒に聞いて授業を始める中学校が多いが、小学校でも同じ内容の活動を行っているので、過去形や未来表現など中学校レベルで学習した内容を積極的に取り入れた。また、小中合同での研修会を月1回程度実施した。

成果①

授業内に How do you say ～ in English ? などと聞く生徒が増えてきた。小学校との研修会の実施や授業見学の成果として、中学校レベルの内容を意識した授業を行うことができた。

成果②

生徒の対話活動を増やした成果として、2学期に行われた第二回英語検定の2次試験(会話)では、3級の合格率が100%、準2級は80%と去年を上回る結果が出ており、その成果が出ていた。

今後の課題・方向性

対話活動や会話において、スモールステップ等を用い、だいた長く続けられるようになってきた。しかし、まだまだ同じパターンの内容が多いので、もう少し内容を広げられるように、教師のデモンストレーションや生徒の模範例を共有し、自分の表現として発展させたい。